


第2次佐伯市総合計画後期

令和7年度
鶴見地域の取組について



主な取組 ア
子どもから高齢者まで、誰もが暮らし
やすい新たなコミュニティの創出

(ア) コミュニティセンターを拠点とした 永続的持続可能な地域活動の支援

令和8年3月22日（日）

10:00～14:00

佐伯市あまべ商工会 鶴見支部 周辺

物販 Aコープ鶴見店ほか全15店舗出店

来場者 約500名



(イ) 地域コミュニティの活性化を図るため、 元気な高齢者団体の活動を支援する

高齢者生活支援事業

大島買物支援事業

社会福祉協議会・ボランティアグループ・Aコープ鶴見店と連携し、大島地区における買物支援事業を令和5年6月より実施中。

年26回実施、サービス利用件数約237件/年



つるみ御用間プロジェクト

社会福祉協議会・ボランティアグループ・Aコープ鶴見店と連携し、中越地区における買物支援事業を令和5年11月より実施中。現在、羽出地区、有明地区（帆波浦）、沖松浦地区（1区）も範囲に広げ実施。年98回実施 サービス利用件数約1336件/年



(ウ) 小規模校の特色をいかした、 地域協働の子育て環境づくりの促進

地域教育支援事業



「鶴見リベラルアーツ学院」

鶴見の子どもたちをに世界中で活躍するアーティストとオンラインでつなぎ交流を通じて、自分、地域、鶴見の未来を描き主体的に行動する子どもの育成を目的として「鶴見リベラルアーツ学院」を松浦小学校と協業で実施。また、子どもたちが製作したアート作品を11/21に下梶寄の海事資料館で開催した「Shimokajiyose Phantom Night」にて常設展示した。



10/16 佐伯市立松浦小学校
4年生×Yurika Saito inドイツ
5年生×中野莉菜 inドイツ
6年生×かおなしまちす in 松浦小学校


(工) 主要幹線である県道梶寄浦佐伯線の改良や、番匠川河口橋の建設要望

- ・県道梶寄浦佐伯線の吹浦地区での早期完成に向けた県土木事務所と連絡調整を行った。
- ・番匠川河口橋の早期着工要望を県土木建築部長に対し行った。

(オ) 消防本部東部分署を防災拠点として活用する

- ・東部分署と共同で衛星通信電話等を使った情報伝達訓練を行った。



A photograph showing numerous squid hanging from a line to dry in a harbor. The squid are white with long, thin tentacles. In the background, there is a blue sky, a green hill, and a harbor with several boats and a wooden pier.

主な取組 イ
海を生業にできるまちづくり

(ア) 若手後継者育成のための就漁支援

異業種参入支援

水産事業者の新規事業開拓支援として鶴見吹浦地域の遊休農地でキウイフルーツを栽培する事業の拡大に向けた支援を行った。

現在、2.7ヘクタール規模。



(イ) 県下最大の水揚げを誇る 鶴見の魚介類のブランディングを確立し、 商品価値を高める取組の支援

鶴見のおさかなカプセル

地域の知的財産を活用する取組として、鶴見のおさかな大百科で
使用した魚介類のデジタルデータを使った「鶴見のおさかなカプセル」を企
画。リアルなおさかなアクリルキーホルダーを製作し、鶴見産魚介類の
PRに努めたほか収益化に向けた取組を行った。



鶴見半島心象アワード。

鶴見地域のブランディングを高めるため、Instagramにおいて、
ジャンル不問、国籍不問の自由なアートコンテスト「鶴見半島
心象アワード」を行い、海外からも含め72作品の応募があった。



(ウ) 鶴見の魚介類を利用した「食」や特産品開発等の支援

鶴見のうまいもんフェア

鶴見地域の飲食店とうまいもん通りの飲食店が連携し、鶴見の魚や農産物を使った「食」のフェアを行った。

8/1～8/31「夏イカフェア」8店舗参加

10/1～11/30「マリンレモンフェア」24店舗参加



鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト

鶴見の地域資源を使った新たな特産品としてカップ麺開発を目指し、フードコーディネーター、アーティスト等と「鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト」を発足。年4回のプロジェクト会議を開催し、鶴見地域の食材の可能性を研究した。

TSURUMI
SUPER
SEAFOOD
NOODLE
会議



令和7年度 noodle meeting
第1回 2025/9/17 (zoom)
第2回 2025/9/30 (in 鶴見)
第3回 2025/12/12 (in 鶴見)
第4回 2026/2/9 (in 鶴見)

参加 |
鶴見地域創生支援協議会
フーズテクニカルサービス 弘藏周子先生
ユーンデ株式会社



主な取組 ウ
ありのままの鶴見半島を味わう観光

(ア) 九州最東端の絶景を誇る鶴御崎や丹賀砲台跡等の歴史自然遺産の、ありのままの魅力を感じてもらうため、サインをユニバーサルデザインのものに統一。また、景観に支障のある雑木の伐採活動を支援する。

つるみ犬山海空リトリート

10月26日、動物との共尊、共存をテーマに鶴御崎自然公園にて「つるみ犬山海空リトリート」を行い犬とその飼い主30名が参加した。

Shimokajiyose Phantom Night

11月21日、歴史遺産の1つである水の子灯台海事資料館周辺の闇を光と音で纏うイベント「Shimokajiyose Phantom Night」を行い約200名の来場があった。

Tsurumisaki Starlight Theater

12月4日、鶴御崎の雄大な夜の自然を体験する星空観測会「Tsurumisaki Starlight Theater」を行い30名の来場があった。

鶴御崎の遊歩道整備

通年にわたり鶴御崎自然公園等の景観支障木の伐採、遊歩道整備を行った。



(イ) 佐伯市を代表する海のイベントとして、 「つるみ豊魚祭」を継続する

農林水産関連イベントの統合という政策決定に従い令和7年度は「つるみ豊魚祭」は行わないものとした。



目標指標



主な取組評価

【1-3 主な取組（R7年度実施）による評価】

評価		評価理由	平均評価
ア	A	高齢者ボランティアグループ及びAコープ鶴見店と連携し、離島大島、鶴見東部地域を中心に高齢者の見守り、買物支援事業を通年に渡り実施する等、地域課題を地域資源で解決する取組ができた。松浦小学校との連携授業についても今年度で3回目を迎え、地域の子どもが多様な価値観に出会える環境が整った。	A
イ	A	水産事業者の新規事業開拓支援として鶴見吹浦地域の遊休農地でキウイフルーツを栽培する事業の拡大に向けた支援を行ったほか、食のフェアの開催、SNSを活用したアートコンテストの開催、新たな特産品開発に向けた「鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト」の立ち上げ等精力的に「海」とともに生きる地域の特色づくりに努めた。	
ウ	B	鶴御崎自然公園等の支障木の伐採等景観保全に努めたほか、水の子灯台海事資料館周辺で光と音のイベント「Shimokajiyose Phantom Night」はじめ鶴御崎の夜の自然を体験する星空観察イベント「Tsurumisaki Starlight Theater」も今年で4回目を実施する等新たな交流人口の増加に努めた。豊魚祭の継続実施については、政策決定に従い本年度は開催しなかった。	

目標指標

【2-1 目標指標】

目標内容		基準値・年度		実績値 【R7年度】	目標値 (令和7年度)	目標値 (令和9年度)
(1)	新規事業参入及び業態転換（副業等含）漁業者（事業者）数	11人（者）	R6	18（者）	12人（者）	15人（者）
(2)	「食」と観光の連携による誘客数	23,900人／年	R6	19,460人／年	25,674人／年	31,000人／年

【2-2 目標指標による評価】

評価		評価理由	平均評価
(1)	A	令和7年度の目標値が12人（者）であり、巻き網漁業を中心に18人（者）の新規就労者があったため評価はAとする。	B
(2)	C	令和7年度の目標値は25,674人であるが、丹賀砲台園地のドーム改修工事に伴う休園、つるみ豊魚祭開催の見送り等により19,460人の集客であったため評価はCとする。	

重点プロジェクト



ひとにやさしいまちプロジェクト

地域の人々が持つさまざまな個性や違いを尊重し、地域課題を地域資源で解決しようとする取組として、地域の高齢者や離島大島等の買物弱者を支援する取組が、行政、地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、Aコープ鶴見店と協業で継続することができた。また、地域の子どもが多様な価値観に出会える環境を創出するため、松浦小学校との協業でのオンライン授業「鶴見リベラルアーツ学院」を継続することができた。

漁業のまちの未来創生プロジェクト

鶴見市場に揚がる魚介類のブランディングを確立する取組として、「食」のフェアの開催や、知的財産を収益化しようとする取組「鶴見のおさかなカプセル」プロジェクトの推進等、鶴見産魚介類のPRに努めたほかSNSを活用したアートコンテストの開催し、鶴見地域のブランディングを高める活動ができた。また、特産品開発として「鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト」を立ち上げ、調査研究を行った。さらに、水産事業者の遊休農地活用によるキウイフルーツ栽培事業参入支援を行ったほか、海の環境保全に向けた取組として令和7年7月21日を基準日として鶴見地域一斉の海岸漂着ごみ清掃を行った。

ありのまま鶴見味わいプロジェクト

動物との共尊、共存をテーマに鶴御崎自然公園にて「つるみ犬山海空リトリート」を行い犬とその飼い主30名が参加。鶴見半島の歴史遺産の1つである水の子灯台海事資料館周辺の闇を光と音で纏うイベント「Shimokajiyose Phantom Night」を行い約200名が来場。鶴御崎の雄大な夜の自然を体験する星空観測会「Tsurumisaki Starlight Theater」を行い30名の来場等新たな交流人口の増加に努めた。また、通年にわたり鶴御崎自然公園等の景観支障木の伐採、遊歩道整備を行った。



重点プロジェクト評価

評価		評価理由	平均評価
①	A	地域課題を地域資源で解決しようとする取組として、地域の高齢者や離島大島等の買物弱者を支援する取組が、行政、地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、地元スーパーが連携し概ね順調に運営できている。また、地域の子どもが多様な価値観に出会える環境を創出するため、松浦小学校との協業でオンライン授業「鶴見リベラルアーツ学院」の開催し3ヶ年継続できている。	A
②	A	「食」のフェアの継続開催や、知的財産を収益化しようとする取組「鶴見のおさかなカプセル」プロジェクトの推進により鶴見産魚介類のPRに努めた。また、鶴見地域のブランディングを高める取組としてSNSを活用したアートコンテストを開催した。さらに特産品開発として「鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト」の立ち上げができたほか水産事業者の農業参入支援等、漁業関係者の新たな収益確保に向けた取組ができた。	
③	A	鶴見の自然、歴史遺産を活用したイベントを通年に渡り開催することができたほか、通年にわたり鶴御崎自然公園等の景観支障木の伐採、遊歩道整備を行うことができた。	

総合評価

総合評価	課題と今後の施策展開について
A	<p>地域課題を地域資源で解決する取組として買い物弱者支援などの地域福祉事業や、地域住民参加型イベント「Tsurumi海の春祭り」を今後も継続していく。交流人口促進施策においても、鶴見の食材を使った「食」のフェアの継続開催や知的財産を収益化しようとする取組「鶴見のおさかなカプセル」プロジェクトの推進により鶴見産魚介類のPRに努めていく。また、鶴見地域のブランディングを高める取組としてSNSを活用したアートコンテストや鶴見半島の歴史遺産や戦争遺構を活用したアートイベントを継続して行っていく。さらに特産品開発として「鶴見スーパーシーフードヌードル開発プロジェクト」を推進するほか水産事業者の農業参入支援等、漁業関係者の新たな収益確保に向けた取組を加速していく。</p>